

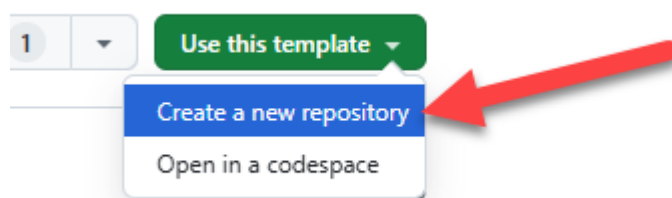
演習 0: 事前準備

ラボを始める前に、いくつかの準備を行います。コードを含むリポジトリのコピーを作成し、開発で使用する [Codespaces](#) を起動します。

ラボ用リポジトリの作成

このラボで使うコードのコピーは、リポジトリの[テンプレート機能](#)を使って作成します。作成したリポジトリにはラボに必要なファイルがすべて含まれ、以降の演習で利用します。

1. 新しいブラウザタブで、このラボの GitHub リポジトリにアクセスします: <https://github.com/se-copilot-workshops/agents-in-sdlc-jp>。ご自身のアカウントでサインインしてください。
2. リポジトリページの **Use this template** をクリックし、**Create a new repository** を選びます。



[!IMPORTANT] Ownerは **se-copilot-workshops** を選び、リポジトリ名にはご自身の GitHub ハンドルを使用してください。

3. Ownerに **se-copilot-workshops** を選び、リポジトリ名にご自身の GitHub ハンドルを設定します。これにより Copilotコーディングエージェントへのアクセスや、Issue を Copilot に割り当てる操作が可能になります。

Start with a template
Templates pre-configure your repository with files.

se-copilot-workshops/agents-in-sdlc ▼

Include all branches
If enabled, all branches from the template repository will be included. Off ☐

1 General

Owner *
se-copilot-workshops ▼

Repository name *
Your GitHub handle

Great repository names are short and memorable. How about **supreme-eureka?**

Description
0 / 350 characters

2 Configuration

Choose visibility *
Choose who can see and commit to this repository **Private** ▼

Create repository

4. **Create repository** をクリックします。

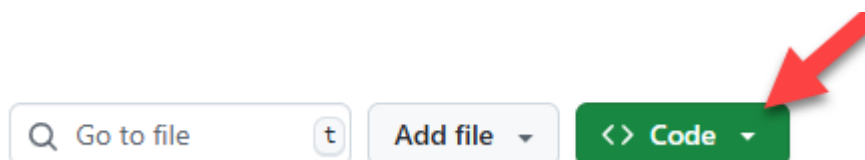
5. 作成したリポジトリのパス（例: **se-copilot-workshops/GHhandle**）をメモしておいてください。後の演習で参照します。

Codespace の作成

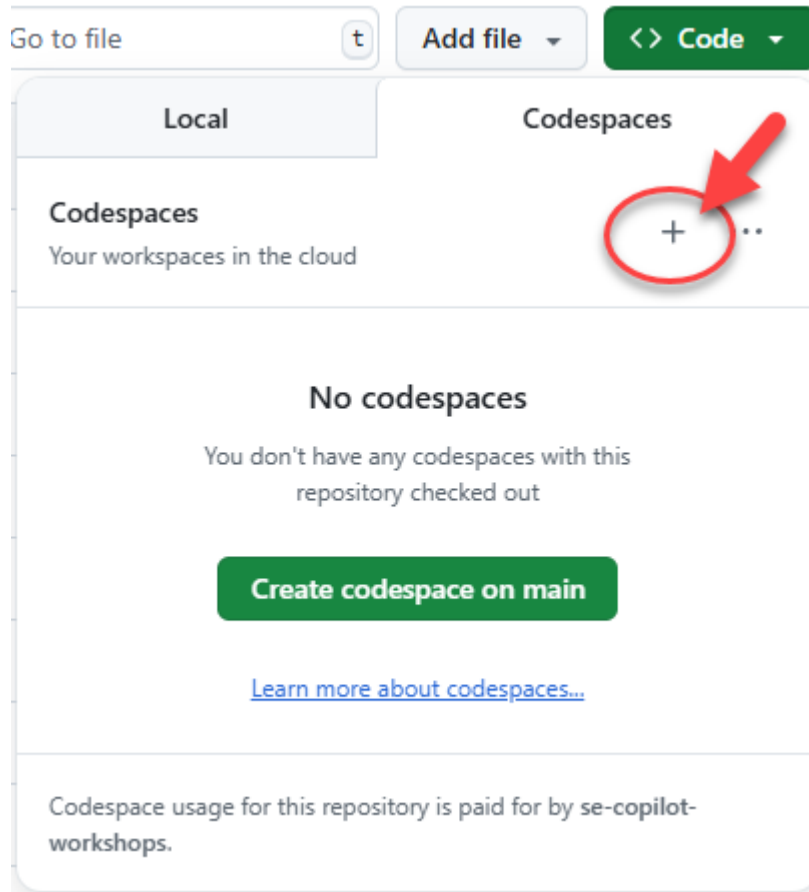
続いて、演習を進めるための Codespace を作成します。[GitHub Codespaces](#) は、ブラウザ上でコードの作成・実行・デバッグができるクラウドベースの開発環境です。複数言語や拡張、各種ツールに対応した IDE を提供します。

1. 先ほど作成したリポジトリを開きます。

2. 緑色の **Code** ボタンをクリックします。



3. **Codespaces** タブを開き、+ ボタンを押して新規 Codespace を作成します。（**TIP:** 作成完了を待たず、次の手順を読み進めて構いません）



Codespace の作成には数分かかります（それでも各種サービスを手動でインストールするよりはずっと速いです）。この待ち時間を活用して、GitHub Copilot に非同期で任せられるタスクの準備を進めましょう。

まとめ

お疲れさまでした。ラボ用リポジトリのコピーを作成し、以降で使用する Codespace の作成も開始できました。次のレッスンの後で、再びこの環境に戻って作業を続けます。

次のステップ

数分の余裕があるうちに、Copilot に非同期タスクを任せる準備を進めましょう。Issue を作成し、Copilot コーディングエージェントに割り当てます。次の演習へ進むには以下をクリックしてください。 [次の演習: Copilot コーディングエージェント](#)